



ラサ工業株式会社

2017年3月期 決算説明会資料

2017年6月2日

証券コード:4022





目次

1. 2017年3月期実績及び2018年3月期見通し
2. 中期経営計画の進捗と2017年度の重点施策



1. 2017年3月期実績及び2018年3月期見通し

2017/3期 決算概要

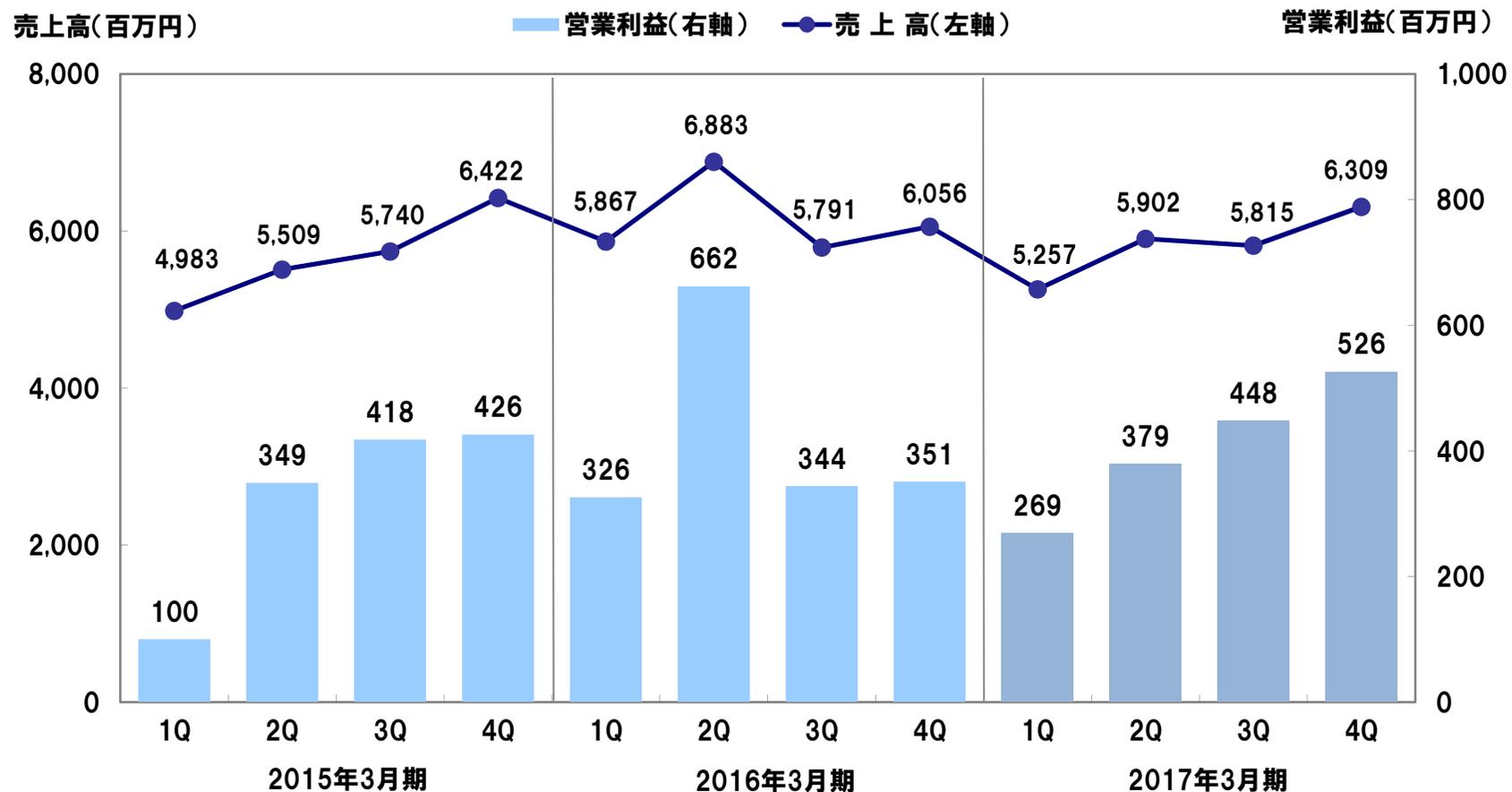
- 売上高は、5.3%減収。放射性ヨウ素吸着剤、今期販売無しが影響。
- 営業利益は、化成品の増益等が寄与し、3.6%の微減、計画比は大幅増益。

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期		期初計画	対計画比 増減
		実績	前年比		
売上高	24,597	23,283	△5.3%	24,500	△1,217
営業利益	1,683	1,622	△3.6%	1,300	322
経常利益	1,226	1,342	9.4%	1,000	342
親会社株主に帰属する 当期純利益	662	1,726	160.4%	1,700	26
1株配当金	0.00円	2.00円	—	—	—

四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移（百万円）



2017/3期 セグメント別概要

(単位:百万円)

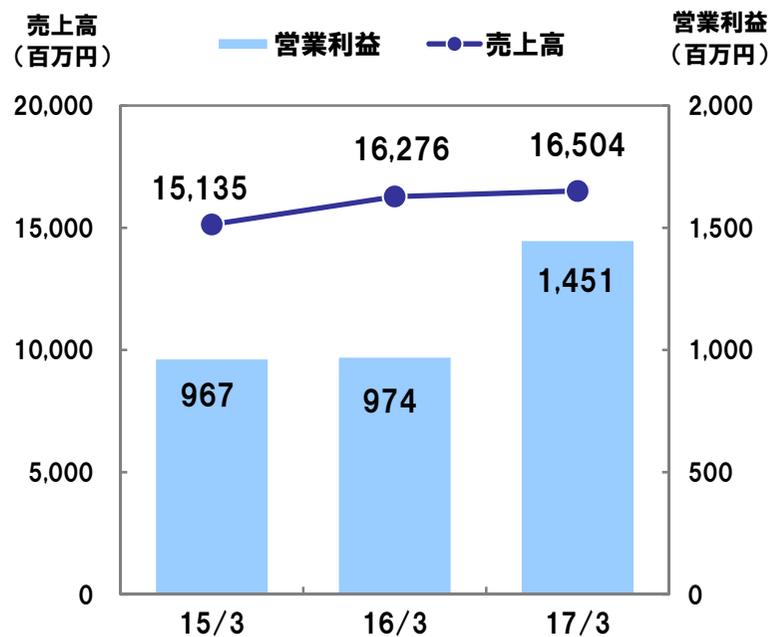
		2016/3 期	2017/3 期	増減
化 成 品	売 上 高	16,276	16,504	228
	営 業 利 益	974 (6.0%)	1,451 (8.8%)	477
機 械	売 上 高	4,704	4,273	△431
	営 業 利 益	434 (9.2%)	194 (4.5%)	△240
電 子 材 料	売 上 高	2,432	1,297	△1,135
	営 業 利 益	263 (10.8%)	108 (8.3%)	△155
そ の 他	売 上 高	1,184	1,207	23
	営 業 利 益	716 (60.5%)	724 (60.0%)	8

注) カッコ内の数値は各セグメント別の売上高営業利益率

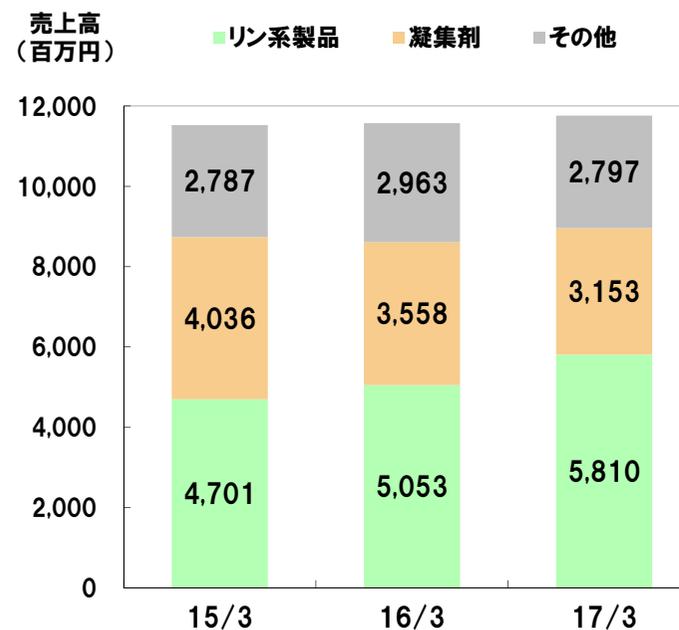
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品の販売が引き続き好調。
- 凝集剤は、官需・民需ともに低迷。

【化成品事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

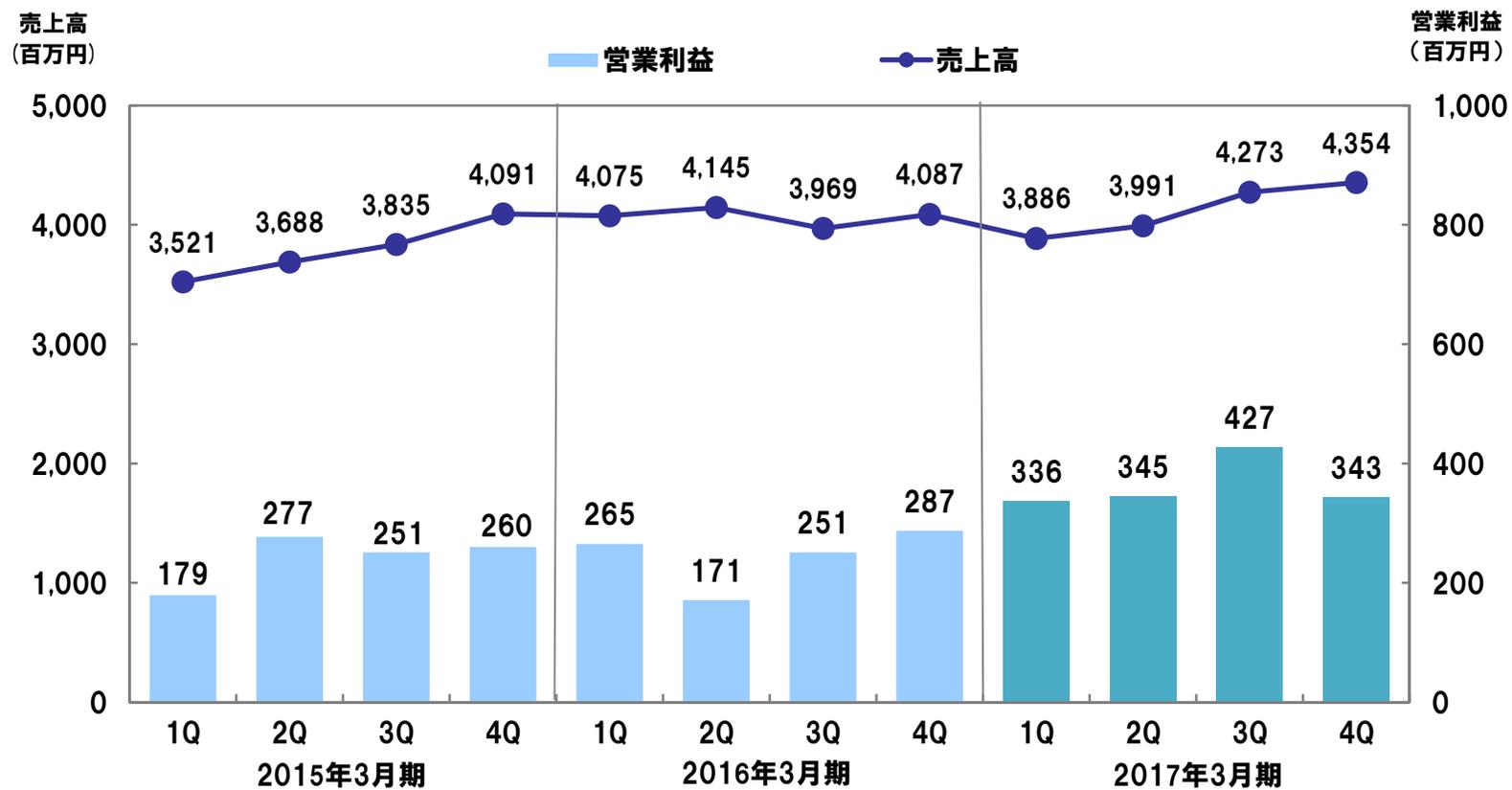


【化成品事業】 製品別売上高の推移 (単独)



化成品事業(四半期業績)

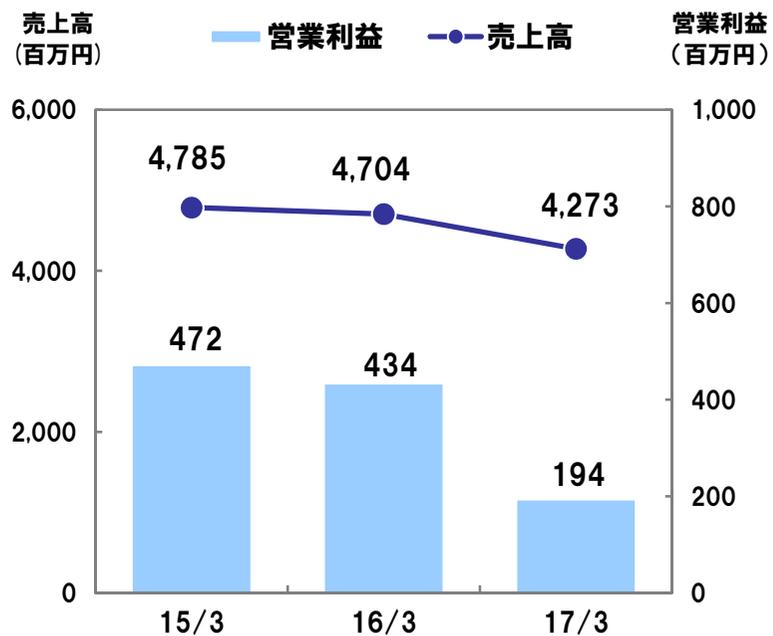
【化成品事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



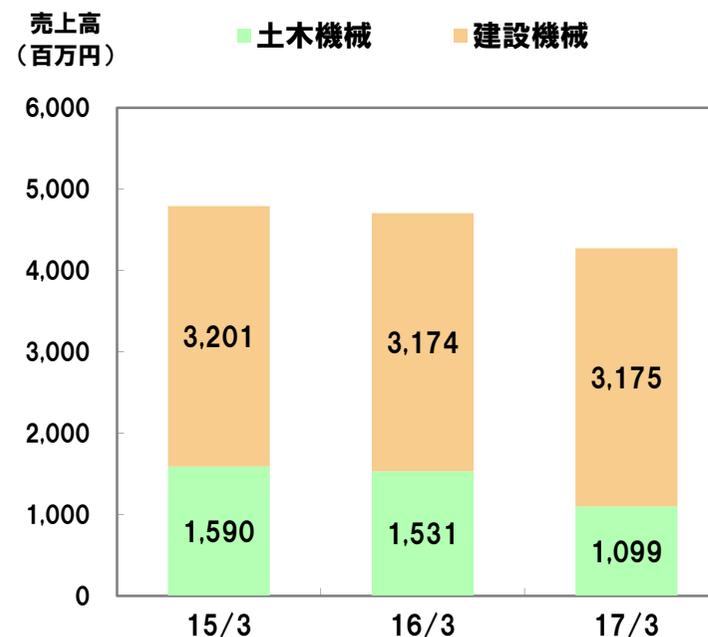
機械事業

- 建設機械は、前年並み。
- 土木機械は、期初の円高の影響により減収。

【機械事業】 売上高と営業利益の推移（連結）

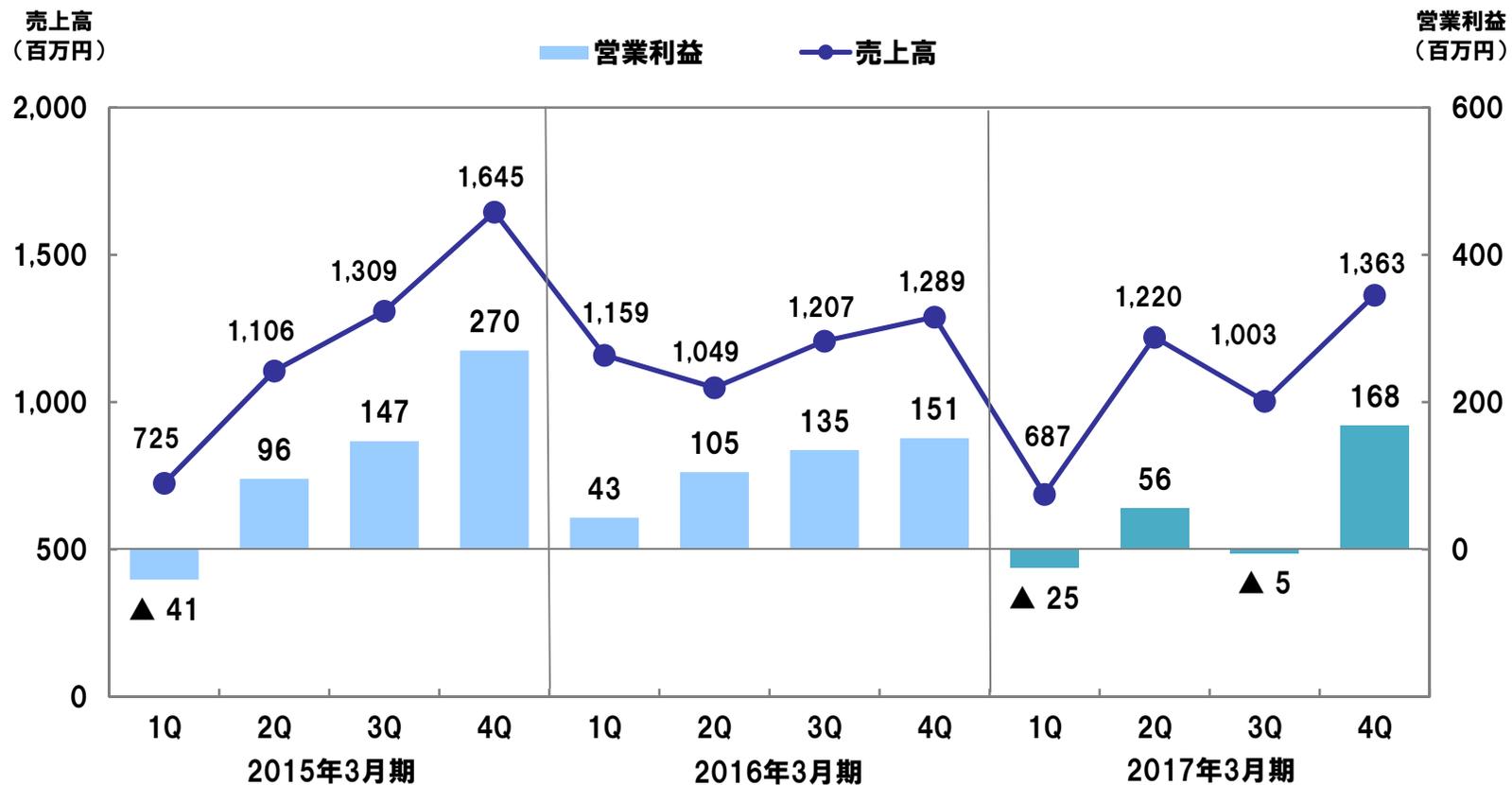


【機械事業】 製品別売上高の推移（単独）



機械事業(四半期業績)

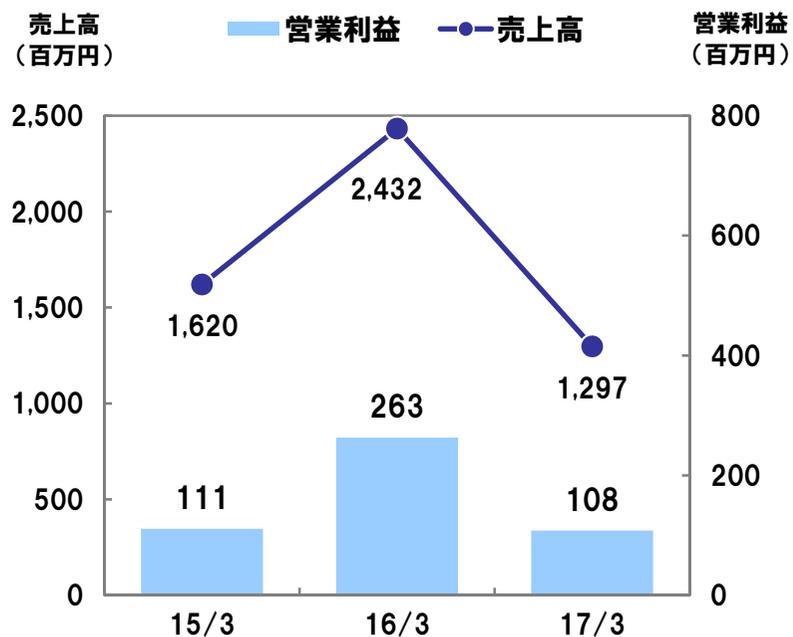
【機械事業】売上高と営業利益の四半期推移 (連結)



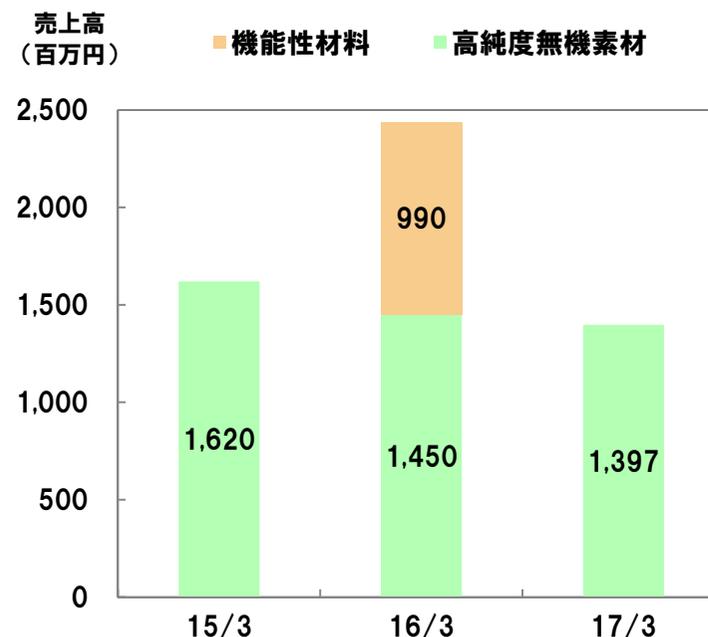
電子材料事業

- 放射性ヨウ素吸着剤の販売無く、減収減益。
- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウム減収も、その他製品でカバー。

【電子材料事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

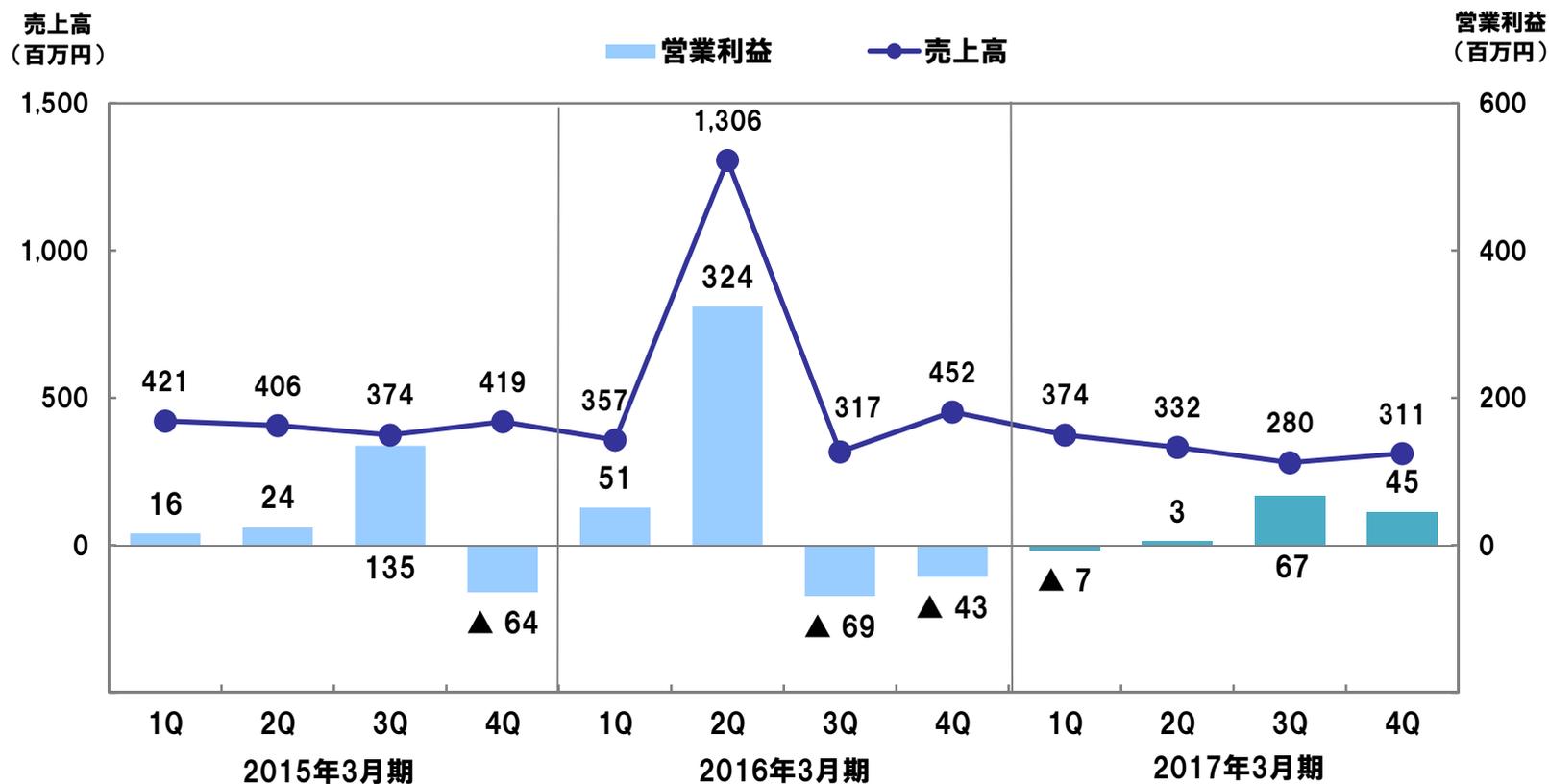


【電子材料事業】 製品別売上高の推移 (単独)



電子材料事業(四半期業績)

【電子材料事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2016/3 期	2017/3 期	増減	伸び率
売上高	24,597	23,283	△1,314	△5.3%
売上原価	19,033	17,588	△1,445	△7.6%
販売費・一般管理費	3,881	4,072	191	4.9%
営業利益	1,683	1,622	△61	△3.6%
営業外収益	184	142	△42	-
営業外費用	640	422	△218	-
経常利益	1,226	1,342	116	9.4%
特別利益	8	47	39	-
特別損失	438	190	△248	-
税金等調整前当期純利益	796	1,199	403	50.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	662	1,726	1,064	160.4%

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	2016/3月末	2017/3月末	増減
流動資産 計	12,810	14,433	1,623
現金及び預金	2,653	3,658	1,005
受取手形及び売掛金	6,758	7,028	270
たな卸資産 ※	2,914	3,344	430
固定資産 計	15,642	16,847	1,205
有形固定資産	12,625	12,929	304
無形固定資産	961	955	△ 6
投資その他の資産	2,055	2,962	907
流動負債 計	12,076	12,715	639
支払手形及び買掛金	3,446	3,416	△ 30
短期借入金	6,449	6,613	164
固定負債 計	7,649	7,785	136
長期借入金	4,272	4,267	△ 5
退職給付に係る負債	2,912	2,885	△ 27
純資産	8,727	10,780	2,053
自己資本	8,709	10,750	2,041
非支配株主持分	18	30	12
総資産	28,452	31,281	2,829

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュフロー表(連結)

(単位:百万円)

	2016/3 期	2017/3 期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,936	1,803	△ 1,133
税金等調整前当期純利益	796	1,199	403
減価償却費	909	902	△ 7
売上債権の増減額(△は増加)	189	△ 276	△ 465
たな卸資産の増減額(△は増加)	871	△ 429	△ 1,300
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 453	△ 35	418
法人税等の支払額	△ 43	△ 127	△ 84
投資キャッシュ・フロー	△ 1,688	△ 924	764
有形固定資産の取得による支出	△ 1,161	△ 944	217
財務キャッシュ・フロー	△ 3,454	135	3,589
借入金の純増減額	△ 3,308	147	3,455
現金及び現金同等物 期中増減額	△ 2,262	1,005	3,267
現金及び現金同等物 期末残高	2,653	3,658	1,005

2018/3期の業績予想

- 半導体向け高純度リン酸や受注済みの廃材処理向けプラント販売が寄与し、増収の予想。
- 設備更新に伴う償却費負担増により、営業利益は微増の予想。

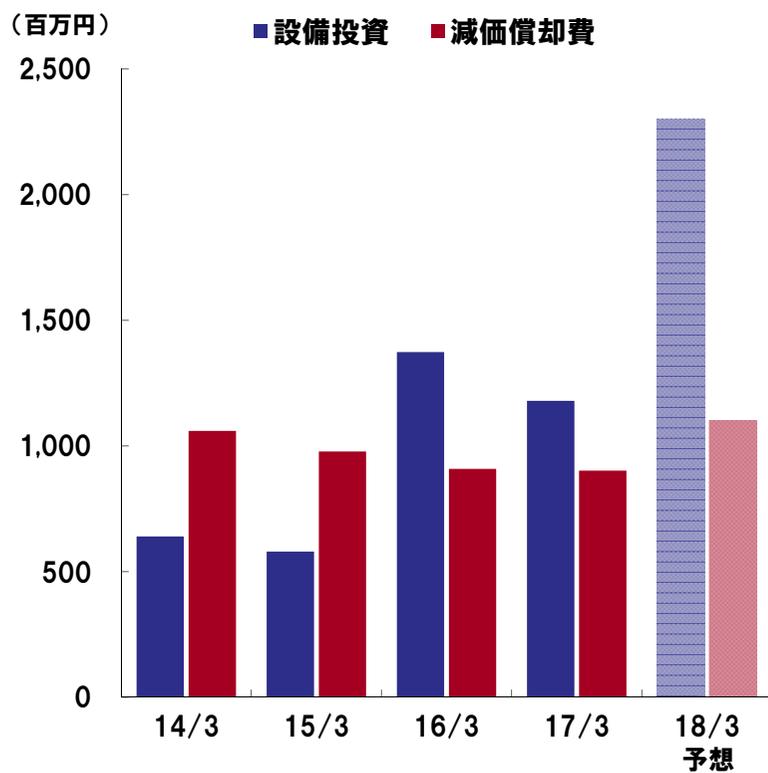
(単位:百万円)

	2017/3期	2018/3期予想	増減	前年比
売上高	23,283	26,000	2,717	12%
化成品事業	16,504	18,300	1,796	11%
機械事業	4,273	5,000	727	17%
電子材料事業	1,297	1,500	203	16%
その他	1,207	1,200	△ 7	△ 1%
営業利益	1,622	1,700	78	5%
化成品事業	1,451	1,400	△ 51	△ 4%
機械事業	194	400	206	106%
電子材料事業	108	150	42	39%
その他	724	700	△ 24	△ 3%
全社費用など	△ 855	△ 950	△ 95	—
経常利益	1,342	1,400	58	4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,726	1,000	△ 726	△ 42%
1株配当金	2.00円	20.00円※	—	—

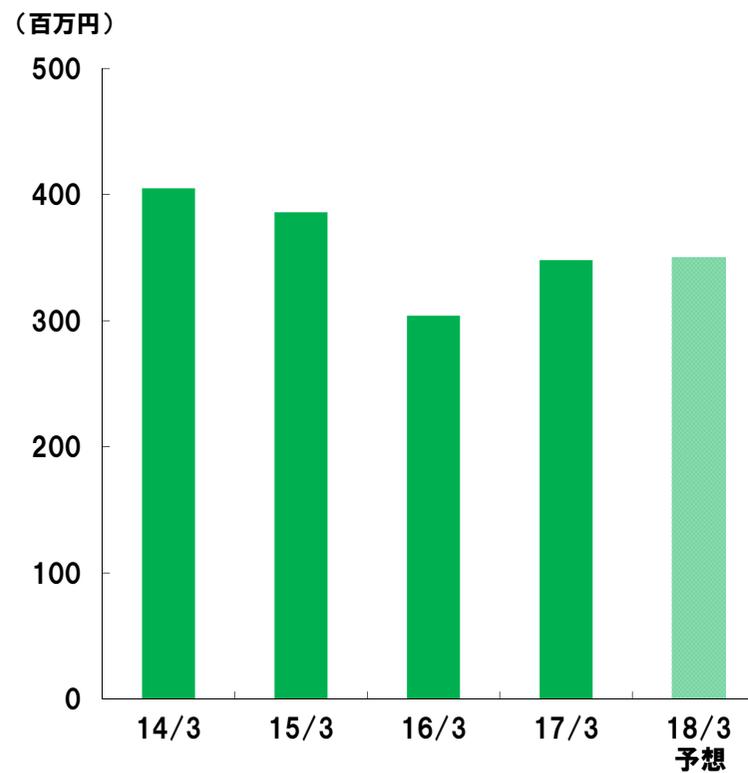
※ 2017/10/1に10株を1株に併合予定

設備投資及び減価償却費推移

設備投資・減価償却費（連結）



研究開発費（連結）





2. 中期経営計画の進捗と2017年度の重点施策

中期経営計画(2015～2017年度)の概要

第8次中期経営計画

～「安定した収益力」と「財務健全化の達成」の両立を目指す～

安定的な配当体制の構築

数値目標

- 連結営業利益 最終年度15億円
- ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

事業戦略

- ◆ 既存事業の強化・領域拡大
- ◆ グローバル化への対応強化
- ◆ 新規事業への注力

効率的な組織運営＋経営管理の見える化推進＋コンプライアンスの徹底

中期経営計画(2015~2017年度)の状況

安定的な配当体制の構築

➔ 2017年3月期に2円配当 2018年3月期予想も20円 ※

※ 2017/10/1に10株を1株に併合予定

数値目標

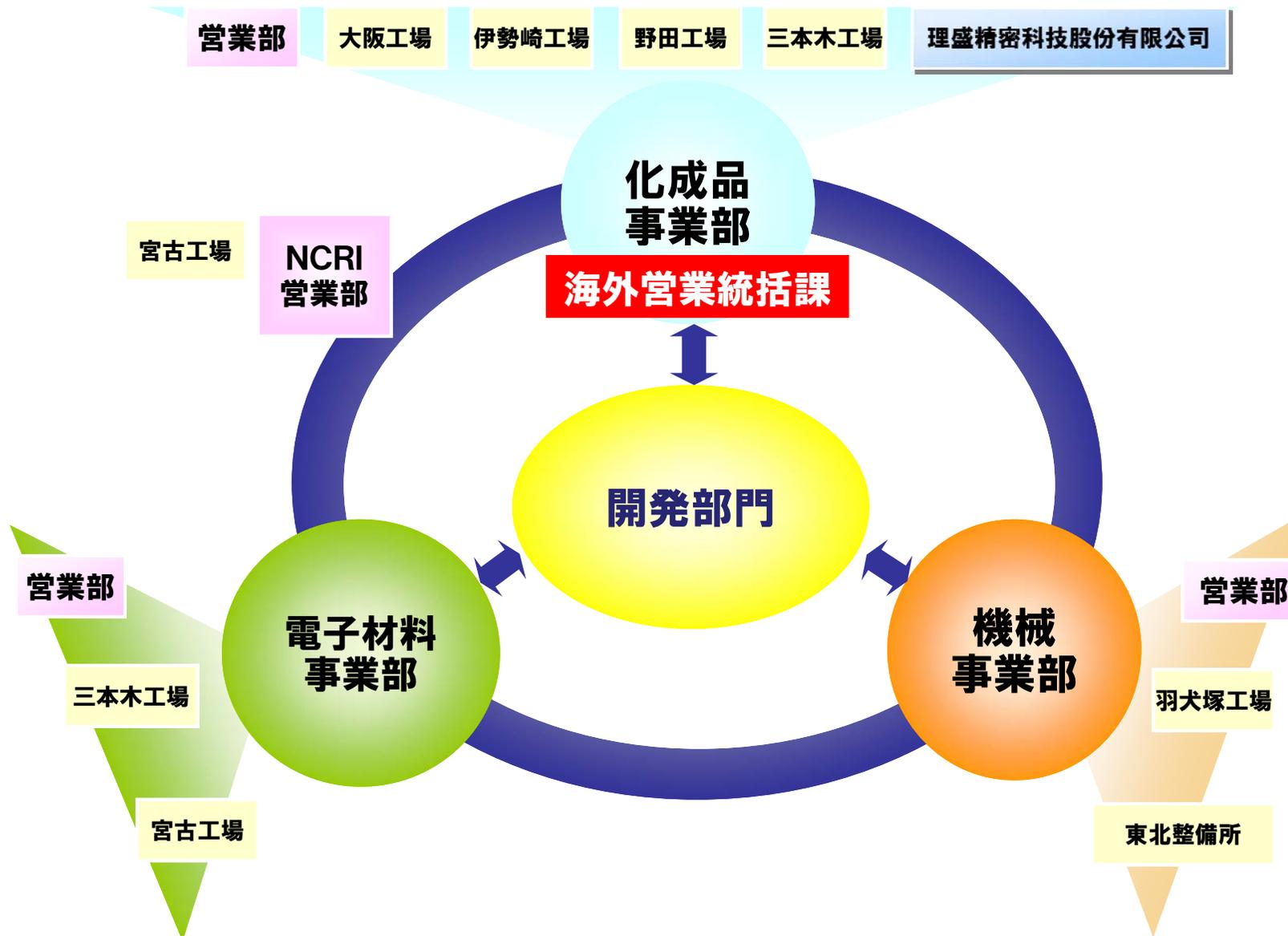
✓ 連結営業利益 最終年度15億円

➔ 最終年度計画は17億円

✓ ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

➔ 2年目達成(0.67倍)、最終年度は借入金増加

安定収益の確保に向けた効率的な組織運営



営業との連携を強化する開発体制

ターゲット領域 「電子産業分野」、「ファインケミカル分野」、「リサイクル分野」

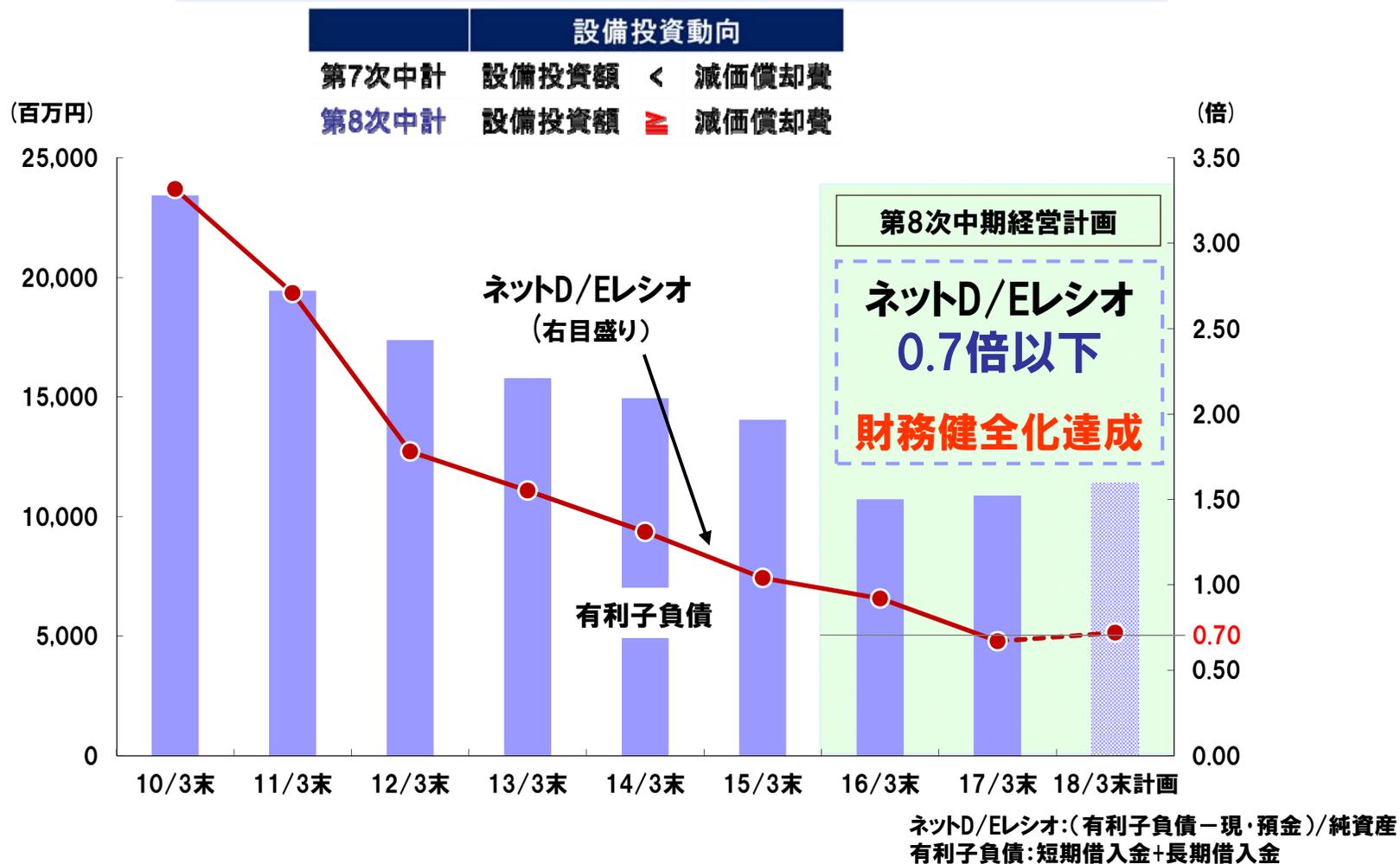


第8次中期経営計画の事業戦略

全社方針	施策
既存事業の強化・ 領域拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 既存商品拡販による収益基盤の安定化・ 営業力強化とコスト削減・ 事業採算性の管理強化
グローバル化への 対応強化	<ul style="list-style-type: none">・ 販売・仕入ともに海外マーケットへの取り組み強化・ 原料の安定確保の強化
新規事業への注力	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザー拡大と高付加価値化・ 製品開発と営業の連携強化

財務健全化の数値目標

成長投資を選別し財務健全化達成を目指す



中計2年目(2016年度)の施策と総括

	化成品事業	機械事業	電子材料事業
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・高純度リン酸の拡販 ・台湾子会社の海外拠点化推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災復興関連の取り込み ・粉体向け機械販売の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高純度無機素材の収益改善策
計画線	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国、合併会社設立 高純度リン酸生産開始 ・表面処理薬品の海外市場開拓 		<ul style="list-style-type: none"> ・工程見直し、在庫圧縮
やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ・消臭剤の海外販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災・復興関連 ・粉体向け機械販売 	

2017年度の重点施策

化成品事業

- 高純度リン酸の拡販
 - ✓ 日韓台の3拠点体制、最適化推進
 - ✓ 設備更新投資の実施
- 台湾子会社の成長
 - ✓ 高純度リン酸を柱に、消臭剤・金属表面処理剤の販売開拓

機械事業

- 下水道向け掘進機の海外新規市場の開拓
 - ✓ 東南アジア新興国(フィリピン・ベトナムが中心)にて営業活動
- 粉体向け機械販売の強化
 - ✓ 顧客ニーズにマッチした製品開発

電子材料事業

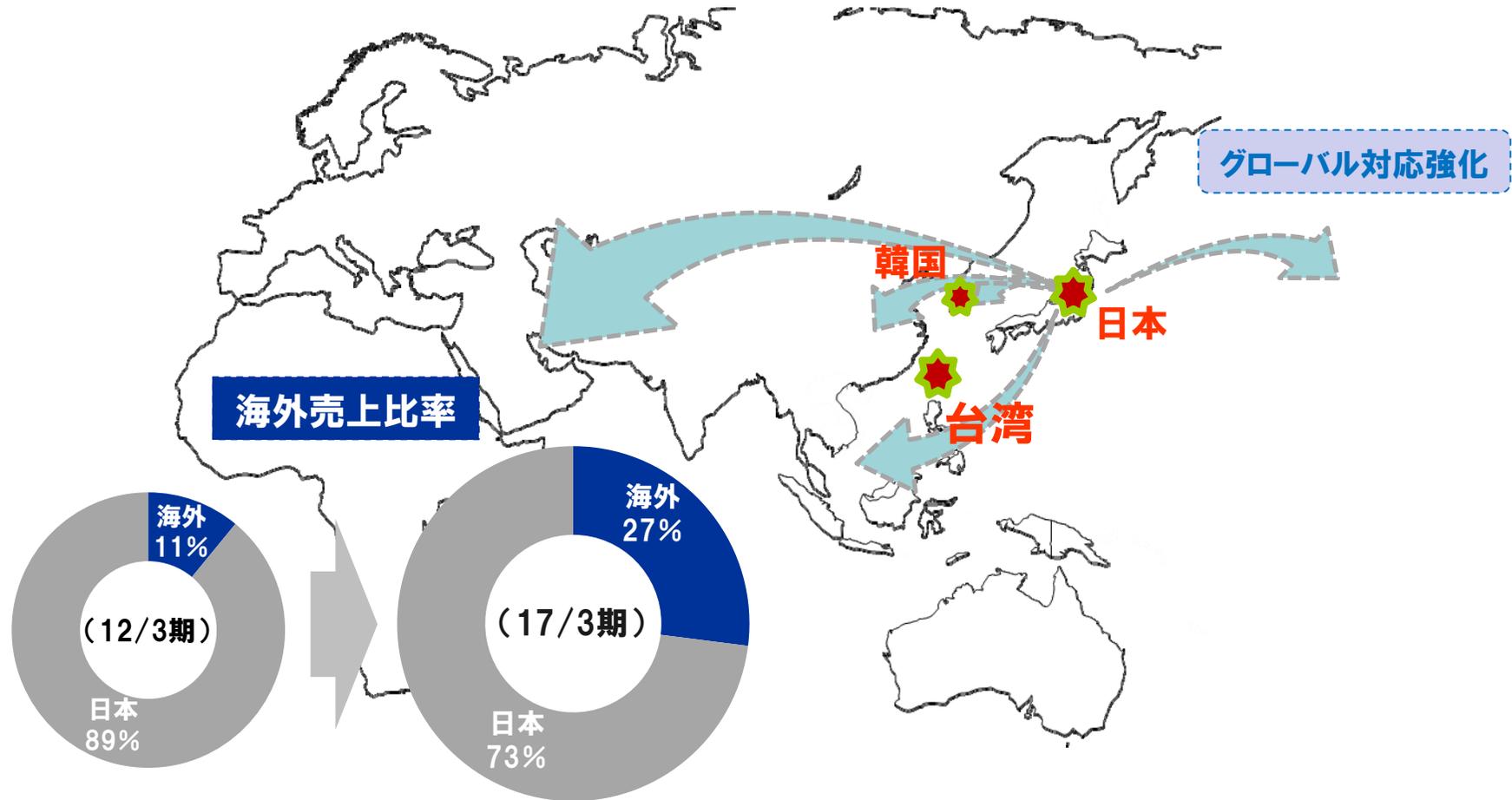
- 塗布剤の拡販
 - ✓ 顧客のコスト削減ニーズに応える提案営業

海外市場の現状と取り組み

現状

海外生産: 台湾・韓国内需向け中心の高純度リン酸

輸出対応: 下水道向け掘進機、高純度無機素材など



本資料に関する注意事項

- 本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892